

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について
固定資産の減価償却法は、定率法を採用している。
- (2) 長期前払費用(礼金)について
均等償却を行っております。
- (3) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金・預金、未収金、未収還付消費税、前払金、未払金、前受金、預り金、及び未払法人税等・未払消費税等を含めている。
なお、当期末残高は、下記2に記載するとおりである。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	5,805,481	2,647,649
未収金	200,251	621,950
未収還付消費税	490,100	0
前払金	10,000	0
合 計	6,505,832	3,269,599
未払金	1,624,322	753,068
前受金	5,000	10,000
預り金	40,823	100,135
未払法人税等	91,000	71,000
未払消費税等	0	125,000
合 計	1,761,145	1,059,203
次期繰越収支差額	4,744,687	2,210,396

3 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	346,500	329,175	17,325
その他固定資産	107,100	35,700	71,400
合 計	453,600	364,875	88,725